

2009年度 東北大学法科大学院入学試験

試験科目：民事法（民事訴訟法）

証明責任に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 証明責任とは何か。
- (2) 証明責任の分配はどのようにされるか。
- (3) 貸金返還請求訴訟において、借金の返済の事実について、原告は「そのような返済はなかった」と陳述し、被告は「〇年〇月〇日に返済金を支払った」と陳述した。裁判所は証拠調べをしたが、どちらの言い分も拮抗しており、返済金につき支払った事実も、支払わなかった事実も認定できない。このとき、裁判所はどのように処理すべきか。
- (4) 売買代金請求訴訟において、当該売買契約について錯誤が問題となった。原告は「要素の錯誤にあたるような事実はなかった」と陳述し、被告は「要素の錯誤にあたる事実があった」と陳述した。裁判所は証拠調べをしたが、どちらの言い分も拮抗しており、要素の錯誤を基礎づける事実があったとも、なかったとも認定できない。このとき、裁判所はどのように処理すべきか。
- (5) 貸金に関する債務不存在確認訴訟において、原告は「現金の交付がなかった」と陳述し、被告は「現金は〇年〇月〇日に原告指定の口座に振り込んだ」と陳述した。裁判所は証拠調べをしたが、どちらの言い分も拮抗しており、現金の交付ないし振込があったとも、なかったとも認定できない。このとき、裁判所はどのように処理すべきか。